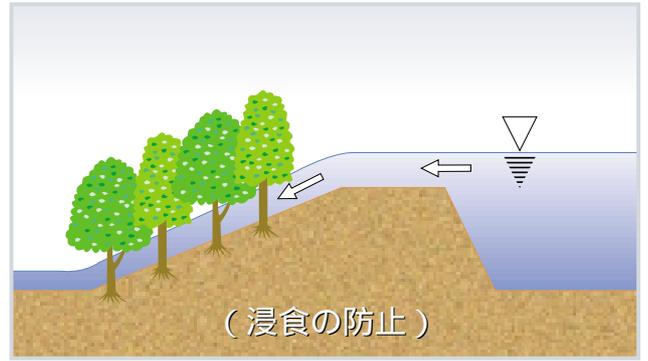




野洲川ふるさとの川整備事業イメージパース図



河畔林は堤防を越える水の勢いを弱めて、堤防を壊れにくくします

あらたなチャレンジ、 野洲川ふるさとの川整備

いま、建設省とともに野洲川流域の各市町が取り組んでいる新しい事業に「野洲川ふるさとの川整備事業」があります。これは、周辺地域との一体化を図りながら、川本来の自然環境を活かした公園整備等をすすめる、さらに各市町の施設の連携をめざすとするものです。川をより身近なものにするため、堤防斜面の形状を緩やかな傾斜に改良したり、河畔林かたがはのりんの設置を推進しています。とくに、河畔林は堤防沿いに樹林帯を設けることによって、万一、川から水があふれた時でも、水の勢いを弱め、堤防の決壊を防止。また、周辺の緑化にも大きな役割を果たします。昨年11月には全国に先がけて、野洲町において河畔林植樹祭も開催されました。



豊かな自然と暮らしを守る河畔林植樹祭

ひとりの小学生 が発見した 日本有数の 服部遺跡はちとりのせき

服部遺跡は、放水路工事が進む昭和49年の夏、ひとりの小学生が服部町の工事現場から土器を見つけたことが発端となって発掘調査が始まりました。遺跡はいく層にも重なり、広大な弥生時代前期の水田跡や弥生時代前期から平安時代中期までの住居跡が発掘されました。また、遺物については遺物コンテナ3000個以上の土器や石器、木器などが出土し、それらは守山市の埋蔵文化財センターで見ることができます。



守山市立埋蔵文化財センター
開館時間9:00～16:00(休館/火曜日・祝日の翌日) 電話077-585-4397

